

【平成17年度専修学校を活用した職業意識の啓発推進事業】

事業名	大阪地区における専門学校コンソーシアムを活用した小中高生徒の職業意識啓発		
学校法人名	創真総合技術学園		
学校名	日本写真映像専門学校		
代表者	理事長 富 道雄	担当者・連絡先	伊藤 伸吾 (コンピュータ日本学院専門学校)

<事業の概要>

専門学校コンソーシアムOsakaの会員校が協力して、地域の小中高等学校および大阪府・大阪市教育委員会や雇用能力開発機構大阪センター等と連携して、対象年齢に応じた職業適性検査の実施から集合形式でのキャリアコンサルティング、それに続く職業体験講座を実施し、若年者の職業に必要な技術・技能の学習意欲と職業意識の高揚を図る。

<成 果>

①池田市立北豊島中学校

現在の1年生の現状を見ると、将来について具体的に考えることや仕事に対する具体的なイメージを持つことのできる生徒は多くないと思われる。多くの生徒の進路に対するイメージは、中学校を卒業すると高校へ進学するというだけで、その先の具体的な進路についてまでは考えが及ばないようである。そこで仕事に対する興味、意識を待たせるため、「ファッション」の表層的な面だけではなく、一つの商品が、企画、デザイン、生産、流通という経路をたどり、消費者のもとへ届けられるまでのプロセスを知ること、世の中にさまざまな仕事があり、それぞれが欠くことのできない重要な役割を担っていることを知らせることが重要である。

②大阪市立大和田小学校

生徒の感想（一部抜粋）

- ・この見学で、これまで知らなかった職業を知れてよかった。
- ・自分にはどんな仕事に向いているかがわかるまでわくわくした。
- ・自分にあった仕事の結果を見てびっくりした。
- ・仕事って大変だなあと思った。
- ・自分が将来なりたい仕事をくわしく調べられた。
- ・大きくなってからやりたいことが増えそうな気がした。
- ・服飾デザイナーについてもっと知りたくなった。
- ・どんな仕事も私たちの暮らしを支えているんだなあと思った。
- ・保育さんになりたいと思っていたけど、これまで何にもわからなかったのであきらめかけていたけど、先生の話が聞いてあきらめるのをやめました。

③大阪市立上町中学校

生徒の感想（一部抜粋）

- ・将来、今目指している職業に就こうとするには、今からその職業のことをよく知っていることが大切だと思います。どのような資格を取ればいいのか、

詳しい仕事内容は何なのかを知らなければ、今から備えてできることは何なのか  
わかり、夢の実現に近づくとおもいます。【男子】

- ・学校でもルールを守って、生活でも家族と助け合い、自分の将来なりたいこ  
とを努力してがんばる。スポーツ関係なら、そのなりたいことを毎日練習し  
て、こつこつとがんばればなれると思う。そのためには、ちゃんと生活して  
健康管理も大切だと思う。私は、スポーツ関係か食品関係の仕事に就きたい  
から練習と健康管理をやっていきたい。【女子】

・ぼくは将来、大工さんになりたいと思っています。「私のしごと館」では、  
大工さんの体験はできませんでしたが、もの作りに大切な集中力を高めるト  
レーニングをかねて時計作りをしました。とても勉強になりました。自分の  
将来のためにもいい体験ができたと思います。【男子】

#### ④大阪府立東淀川高等学校

キャリア形成セミナーは、2年生であるため、まだ就職や進学に切実さが感  
じられなかったが、それでも約3割は熱心な受講態度であった。

生徒自身が関心を持ったのは、「フリーターってなに？」という項目である。  
フリーターの良い点、悪い点を短時間に書き出すことができ、客観的にはまず  
いと思っはいるが、なにかまだフリーターの中に「夢」を捨てきれないよう  
であった。このような、情報不足や若さゆえの誤解を早い時点で解決しておく  
のに、このようなセミナーは大いに価値あるものとお考える。ただしそのやり方  
は、知識の提供ではなく、生徒自らが気づいていく方法を、時間がかかっても  
実施する必要が妥当であり、またその考えを推し進めれば、いま目の前の生徒  
のしていること、考えていることからどのような道を通っても、生徒の誤解解  
消につながる柔軟な対応ができる手法が必要とお考える。